



出雲崎中学校だより

＜第2号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和7年6月5日発行

教育目標 「豊かな心 たくましい実践」

目指す生徒像 「わかるまで、できるまで学ぶ生徒」「お互いを思いやる、心優しい生徒」「自己に挑戦し、自ら鍛える生徒」

「最高到達点」



今年度の雄飛会スローガンを発表する生徒会本部役員

5月13日(火)の生徒朝会で、今年度の雄飛会スローガンが発表されました。

「最高到達点」…このスローガンには、「今よりも成長し、出中をこれまでで一番良い学校に創り上げていこう」という意味が込められています。

人気アーティスト SEKAI NO OWARI の曲に「最高到達点」という曲があります。この歌詞に

は、自分自身や他人への「優しさと強さ」の重要性が描かれており、困難な状況でも立ち止まらずに前進し、最高の到達点を目指す姿勢が歌われています。「優しさと強さ」は、まさに当校の目指す生徒像「お互いを思いやる、優しい生徒」と「自己に挑戦し、自ら鍛える生徒」と一致しています。そんなスローガンを掲げ、史上最高の出雲崎中学校を創ろうという令和7年度の雄飛会の活躍に期待しています。

地区大会



いよいよ来週から地区大会が始まります。6月2日(月)には激励会も行われました。3年生にとっては、勝ち抜かなければ最後の大会となる「大一番」となります。ぜひ、今までの取組の成果を存分に発揮し、それぞれの目標を達成してもらいたいと思います。目標の達成に欠かせないのは、周りからの応援です。応援によって、自分(たち)のパフォーマンスを最大限に発揮することができます。応援の「応」は、心でしっかりと相手の行動や状況を受け止めることを意味する漢字です。また、「援」は、ひも状のものを上下から手を差し伸べて引っ張るという意味を持つ漢字です。つまり、相手の物事に取り組む姿勢や思いを受け入れて、手を差し伸べる行為が「応援」ということになります。また、大きな声でするのだけが応援ではありません。うまくいかなくて諦めかけている人や失敗することを恐れている人に寄り添い、そっと声をかけてあげることも応援です。ぜひ、お互いに応援し合って、それぞれの目標を達成できるようにしましょう。



～小中合同あいさつ運動～

6月3日(火)、出雲崎小学校の児童玄関前で、小中合同あいさつ運動が行われました。毎年、出雲崎小学校と出雲崎中学校の小中連携事業の一環として、年2回実施されています。今回は、中学校の生徒会本部役員と生活委員長が小学校に訪問して、児童の代表の皆さんと一緒に、登校してくる小学生に「おはようございます」と元気なあいさつを行いました。

あいさつとは、「自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく」という意味で、人と関わる上で、とても大切な行為です。私自身、時々あいさつで「失敗したなあ」と思うときがあります。自宅前などで近所の方の姿を確認していながら、相手は自分に気づいていないだろうと思い、声をかけないでいると、相手から先に「おはようございます」とあいさつをされることがあります。そんな時は、とても気まずい思いをしてしまいます。あいさつは、先にする方が気持ちがいい、すなわち先手必勝だと思います。



【学校諸経費に関するお知らせ】

先日行われたPTA総会の際、学校諸経費の説明で、「ゆうちょ銀行は、6月分から引き落としができなかった場合も手数料を含んだ額の納入が必要になる」という内容をお伝えしましたが、この度、株式会社ゆうちょ銀行から変更の文書が届きました。つきましては、以下に一部抜粋した文章を掲載しますので御了承ください。

(株式会社ゆうちょ銀行)

「先般、弊行から、2025年6月2日(月)以降、料金受取人負担の自動払込みの料金計算法について、払込み成立件数から請求件数に応じた料金計算に変更する旨、お知らせしておりましたが、お客様につきましては従前の契約内容の確認にお時間を要したため、2025年6月2日(月)での料金計算法の変更は行わず、2026年2月2日(月)に料金計算法を変更いたします。」